



■ヘチマサイクル

夏のかまくら

■小学校のカリキュラムに「ヘチマサイクル」を

小学校で一度は育てることのある、ヘチマ。ヘチマは虫にも強く、ぐんぐん育ち、最近ではグリーンカーテンとして注目を浴びている。ただその後、一般的に果実は食べられない為、フェンスに巻きついたら、風化させてしまう小学校が多い。

そこで、小学生に、熟したヘチマを収穫させ、束ねて空間つくるというカリキュラムを組む。一つの小学校で一つの大きなかまくらができる。夏のおわり、それは新たな夏の風物詩として現れる。

ヘチマでできた空間は、雨が降るとジュワジュワとしぼみ、晴れるとパチパチと水泡を含みながらふくらんで、を繰り返す、少しずつ朽ちて土に還っていく。周りの環境や中のコミュニケーションを反映し、様々な表情で呼応する、生きる空間。小学生はこの空間体験を通し、環境と触れ合うきっかけをもつ。



■かまくらのつくりかた



乾燥させ、スポンジ状になったヘチマを割り、細かい繊維をきつく縫いあわせてドーム状にする。ヘチマの中側は柔らかく、外側は堅いため、ドームの形状を保ちながらも、中はふわふわの、通気性のいい不思議な「夏のかまくら」になる。



【種蒔き】



4月下旬～5月上旬

【定植】



5月中旬～6月上旬

【追肥&支柱】



6月中旬～8月下旬

【収穫】



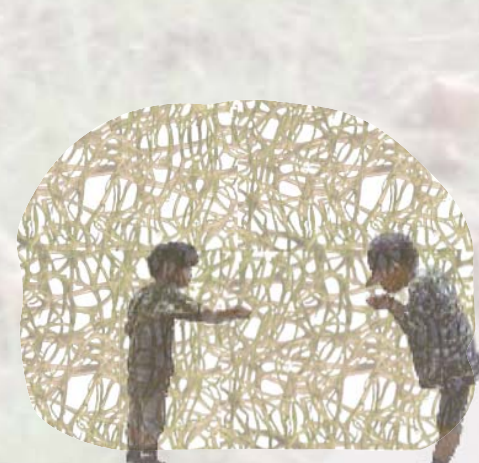
9月上旬

【種摘出&乾燥】

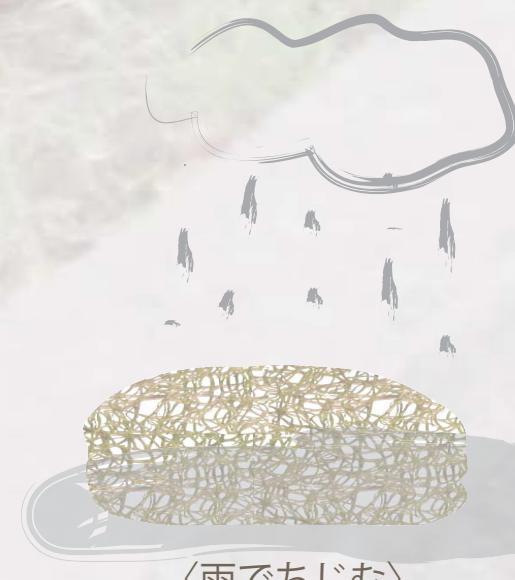


9月中旬

【かまくらづくり】



9月中旬～9月下旬



〈雨でちじむ〉



〈乾いてふくらむ〉

【土に還る】



10月中旬